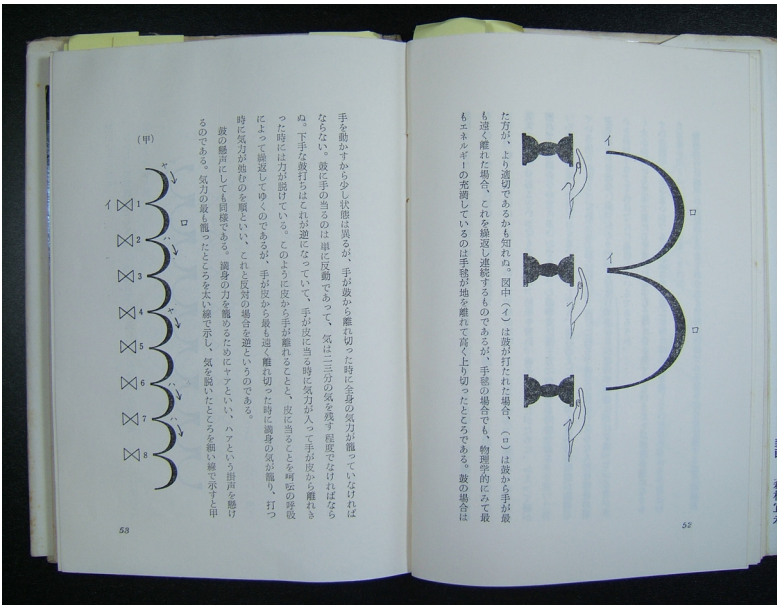
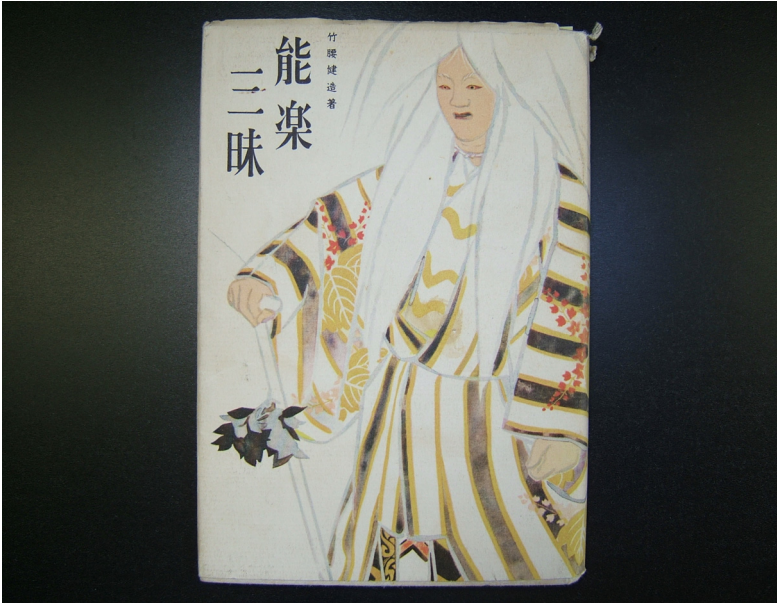


竹腰健造 『能楽三昧』

著者は建築を本業とする素人である。七十歳を機に、五十年にわたる能とのつきあいをまとめたのが本書である。拍子の理屈を最初に学習することの大切さを主張するだけでなく、その運用面にも多くの言葉を費やしている。写真下は、しばしば抽象的な説明に終わることが多い「呼吸」を、著者なりに図式化した部分である。拍と拍の間をつなぐ中間の位置にもっとも気力がこもるべきであるという、図式をともなった説明は、能のノリのあり方を的確に表現している。



標題 内題：—

標題紙：能楽三昧

奥附：能楽三昧

その他：能楽三昧(目次・表紙・背)

著者 奥附：竹腰健造

その他の場所：竹腰健造(背)

出版 版次：第一版

出版地：東京

出版社：わんや書店

出版年：昭和33(1958)

その他の場所：序 昭和33(1958)

形態 冊数：一冊 頁数：二二三頁

寸法：19×13 (cm)

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考